

「大分県宇佐市で こねぎ農家になりませんか」

研修生1組2名募集

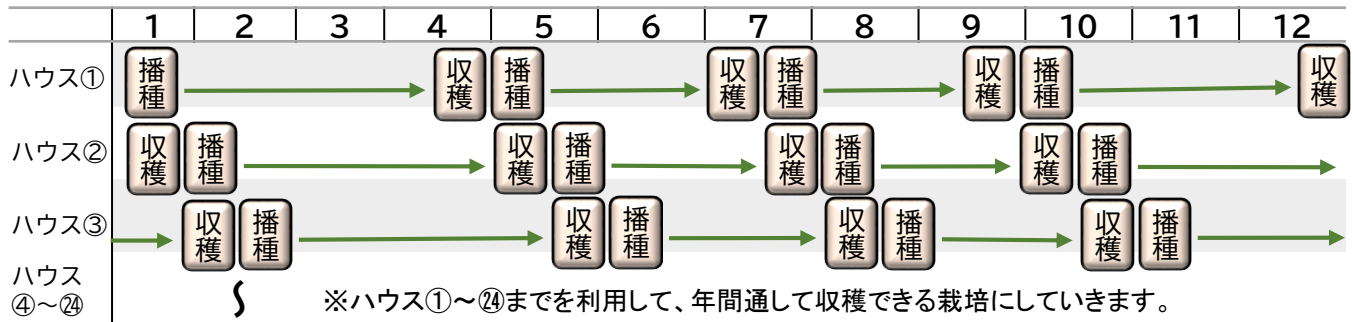
(R5.2月作成)

●宇佐市のこねぎ（大分味一ねぎ）経営の特長

こねぎ農家になるため2カ年の実施研修や座学と並行して、農地の確保や経営目標の作成、ハウス建設に向けた準備、補助事業の申請、農家になるための行政手続等、やることはたくさんありますが、安心して、スムーズに就農できるよう関係機関にてサポートします。

- 現在、関係機関で連携して、大分味一ねぎの更なるブランド化に取り組んでいます。
- 販路が確保されているため、販売単価が安定しています。
- 栽培期間は概ね夏60日、冬120日以上で、年間3回以上栽培できます。
- こねぎは年間を通して栽培できるため、収入を安定して確保できます。
- 夏場はハウス内が高温になるため、午前3時頃の気温が低い時間帯から収穫を行います。
- 冬場は前日の日中に収穫したものを翌日出荷することもあります。
- 市内パッケージセンター（共同調整場）に、こねぎの調整や袋詰め作業を委託できます。

●こねぎ栽培の1年



●就農までの流れ

就農相談

短期
体験研修

研修1年目

研修2年目

就農

栽培技術研修

就農地協議

就農地決定

就農計画協議

補助事業協議

資金借入協議

●経営目標

就農5年目の経営目標

品目・規模・収量(単収/10a)

・こねぎ(夫婦型) 70a 28t(4.0t)

販売額・所得

・販売額 2,500万円・所得420万円

従事者

・家族 2人・雇用 0人

・単収増加
・品質向上

就農10年目の経営目標

品目・規模・収量(単収/10a)

・こねぎ(夫婦型) 70a 31.5t(4.5t)

販売額・所得

・販売額 3,200万円・所得 530万円

従事者

・家族 2人・雇用 0人

※専従者給与は所得に含む。

※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

※技術レベルが上がり、高品質なこねぎの生産が可能となった場合。

●モデル経営体の紹介

氏名 川島正裕

経営概要

面積1.2ha 単収4.5トン 販売額5,800万円

構成員3名（雇用2名）

就農10年目

経営理念

- ・大規模産地の構成員の一人として、ニーズに応えられる生産を行っていく

メッセージ

- ・お金の面だけではなく、やりがいや生きがい等の「農業のいいこと」を見つけることが大切です



●私たちがサポートします ～技術習得から就農までのサポート体制～

大分味ーねぎ生産部会宇佐支部

会員数:24名 面積:21.7ha 販売金額:億円(R4実績)

【活動】

- ・月1回の勉強会や園地回り
- ・流通研修
- ・販促活動



大分“味ーねぎ”トレーニングファーム運営会議

【活動】

- ・運営会議(研修状況確認、農地情報共有、就農相談)の開催
- ・座学(土づくり、薬剤、経営、簿記、農政制度、資金関係)
- ・研修生との面談、就農に向けた事業計画作成支援等

就農コーチ

高い技術力を持つ就農コーチから指導を受けながら研修用の栽培施設で自ら栽培することにより、栽培技術を学びます。



●宇佐市の支援策

○農業支援制度

- ・就農準備資金※60万円×研修期間(最長2年)

○移住子育て世帯支援制度

- ・住宅購入補助※最大150万円
- ・マイカー取得補助※最大100万円
- ・すくすく子育て入学祝い金(小、中、高)

○移住支援制度

- ・移住お試し滞在施設補助※最大4千円×7泊

●産地が求める人材

○就農に対する強い動機と自ら能動的に学ぶ意欲を持って計画的に取り組める人

○ひたむきに農業に取り組む姿勢を持って、関係者の助言等を柔軟に受け入れられる人

○就農に向けて自己資金を(なるべく300万円以上)保有している人

○宇佐市に定住(子育て)し、交流を通じて地域に溶け込み、産地とともに歩める人

●問い合わせ先

JAおおいた北部事業部
〒872-0521 宇佐市大字中敷田559
TEL:0978-25-4655
FAX:0978-25-4656

宇佐市役所 農政課
〒879-0492
宇佐市大字上田1030番地の1
TEL:0978-27-8155
FAX:0978-32-2331
メール:nousei08@city.usa.lg.jp
ホームページ: <https://www.city.usa.oita.jp/>